
6月6日

わるる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

6月6日

【Zコード】

N8619A

【作者名】

わるる

【あらすじ】

主人公の彼氏が死んでから六年。彼女は、命日に彼の墓参りをする。

(前書き)

注意！この小説は、非常にレベルの6、または6を含みますので、六恐怖症の方は、十分に注意してお読みください。

ああ、今年も6月6日がやってきた。

彼の誕生日で……命日。

私たちは、六年前の今日、結婚するはずだった。

しかし、彼はその日の朝六時に、何者かに殺された。ナイフで六ヶ所を刺され、二目と見られない状態になっていた。犯人はいまだに捕まっていない。

私は六日六晩泣き続けた。

あれから六年経つたのか。

最近になって、ようやく心の整理がついてきた。

そして今、彼の墓場の前に立っている。

雨が降っている。

彼が死んでから、この日にならぬ雨が降るようになつた。まるで、空が彼の死を悲しんでいるみたいだつた。

6月6日の六時に六ヶ所を刺されて死んだ、可哀想な彼に、6本の

朝顔を供えた。

彼の好きだった花だ。

「朝顔つて、毎日早起きして、すごいよな。尊敬するよ」

彼はそう言つていた。彼は、朝寝坊ばかりしていたから……

彼の死んだ時間。

いつのまにか、私の周りには、五人の黒い服を着た者達が居た。

彼の……父、母、兄、妹、そして、親友。

腕時計を見ると、朝の六時になろうとしていた。

彼の死んだ時間。

彼の父は、事故で片目を失っていた。

彼の母は、ハンカチで右目を押さえている。

彼の兄は、眠そうに左眼をこすっていた。

彼の妹は、私が苦手らしく、いつも母親の後ろに隠れていた。今は、左側だけ見える。

彼の親友は、「痛い痛い」と言いながら、左目をこすっていた。目にごみが入ったみたいだ。

そして、今私は、右目が少し前に腫れたので、眼帯をしている。ゴトリと、彼の墓から音がした。

同時に、六人が音のしたほうを見つめる。

六人が一人一つずつ、合計六個の瞳が、墓を見つめた。すると、備えてあつた饅頭が落ち、コロコロと転がった。

それは、彼の妹の前で止まつた。

その時、私は全てを理解した。

彼を殺したのは、彼女だ。私は、彼女が彼を殺した理由が何となく分かつた。

彼女が彼を見る目は、妹のそれとは違つた。

彼は気付いていないようだつたが。

もしかしたら、私が女だつたら、分かつたのかもしれない。そう、彼女は自分の兄に恋をしていた。

そして、彼を私に取られるのが悔しかつた。だから、まさに私に奪われる当口、殺した。そんなどころだらう。

全てを理解したが、不思議と私は何も感じなかつた。

もし六年前の私だつたら、間違いなく、的確に、素早く彼女を殺していただろう。

でも、今は全くそうは思わない。

多分、心の中で完全に彼の存在が風化しているからだらう。

なぜなら今、私は彼の顔を思い出せないからだ。

(後書き)

多分、こんなに薄情な人は、そう多くはいないと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8619a/>

6月6日

2011年1月25日02時11分発行